

●財団だより●

第 7 回「生体の科学賞」の受賞者

「生体の科学賞」は株式会社医学書院の創立者である故金原一郎氏の「これからの新時代における医学・医療の更なる発展を期する為には、基礎医学医療研究への資金援助とその人材育成が最も重要である」との遺志に基づき 2016 年度に創設の助成金です。

基礎医学領域の有識者で構成された選考委員会、ならびに当財団理事会で審査の結果、下記の方へ交付されることが決定しました。

|       |                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------|
| 氏 名   | 須田 年生(すだ としお)                                                            |
| 所 属   | 熊本大学国際先端医学研究機構                                                           |
| 役 職   | 拠点長・卓越教授                                                                 |
| 賞 金   | 500 万円                                                                   |
| 研究テーマ | 造血幹細胞の自己複製機構に関する解析<br>Self-renewal mechanism in hematopoietic stem cells |

授与の理由

幹細胞研究はかつては造血系を対象とする血液病学の一領域でしたが、現在は幹細胞生物学として、発生から老化、がんに至るまで広い領域をカバーする重要な学問分野となっています。須田博士は幹細胞研究の黎明期に、1 個の母細胞に由来する 2 個の娘細胞の分化を見る paired daughter cell アッセイ (PDC) という独自の手法によって、造血細胞の不均等分裂が血液細胞の多様性を生み出すことを証明された後、造血分化を制御するシグナルや幹細胞としての性質を維持するニッチ環境の解明などにより幹細胞研究をリードし、普遍的領域としての本分野の発展に大きく貢献してられました。本研究では、須田博士がライフワークとして来られた「幹細胞の自己複製分裂とは何か」という問いに対し、これまで培ってきた独自の手法に加えてタイムラプス顕微鏡や細胞運命の一細胞解析、数理モデル研究などの最新の手法を取り入れて、「幹細胞の自己複製と分化が細胞分裂の(非)対称性によってどのように制御・選択されているのか」という幹細胞生物学の根本命題を明らかにしようとしています。須田博士が今後も幹細胞の基礎研究を通して我が国の医学生命科学発展に貢献し続けることを祈念し、本賞を授与いたします。

公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 E-mail info@kanehara-zaidan.or.jp